

令和元年度 第4回魚沼市子ども・子育て会議 会議録（案）

1. 日時	令和元年10月18日（金） 9:00～10:00					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 （敬称略）	魚沼市子ども・子育て会議					
	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
	会 長	樋口 健一	○	委 員	富永 直子	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	桑原 久美子	○
	委 員	古田島 裕太	○	〃	櫻井 久子	○
	〃	高橋 久子	○	〃	岡部 ひとみ	○
	〃	上田 紀子	○	〃	櫻井 悦子	○
	〃	中澤 京子	○	〃	高橋 静枝	○
	〃	山本 都子	○	〃	梅田 愛子	欠(委任状)
	〃	清水 明次	○			
魚 沼 市						
魚沼市子ども・子育て会議事務局（教育委員会事務局）						
<ul style="list-style-type: none"> ・教育長：梅田 勝 ・事務局長：堀沢 淳 ・子ども課長：広井美智子 ・母子保健係：係長 山田弘子 ・保育園幼稚園係：係長 阿達文子 ・児童福祉係：係長 星野崇 						
4. 資料 （全て事前配布済）	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・第二期計画(案)第3回会議提出分修正箇所一覧 資料No.1 ・総論(案)抜粋 4 保育サービス及び子育て支援事業現在の状況 資料No.2 ・第二期 魚沼市子ども・子育て支援事業計画 第2部 各論(案) 資料No.3 ・令和元年度 第3回魚沼市子ども・子育て会議 会議録(案) 					
5. 会議概要	（説明、質疑、意見、答弁内容等の要旨をまとめました。）					
事務局	開会 委員総数 15 名、出席委員 14 名、委任状 1 名。半数以上の出席があり、会議成立。					
教育長	<p>1 教育長挨拶</p> <p>急速に少子化、人口減少が進んでいます。昨年、全国で産まれた子どもの数は91万8千人だそうです。対して亡くなった人の数は136万2千人で差し引き約44万4千人が減少しています。1日に換算すると1,200人の減少です。</p> <p>魚沼市では昨年の出生数が191人、亡くなった人が621人で430人の減少です。1日あたり0.85人の減少です。特に20歳から64歳の現役世代の減少率が大きく、全年齢の減少率を上回っているそうです。</p> <p>少子化をめぐる状況についてある著者は、働きたくても働けない若者世代の増加や、晩婚化、未婚が進んでいて少子化に歯止めがかからないと言われています。社会を支える側の人が減ってサービスを維持出来ない、社会が立ち行かないと警鐘を</p>					

	<p>鳴らしています。</p> <p>今必要な事は、団塊ジュニアと言われる世代とその後の世代、特に 30 代から 40 代の世代を社会全体でどのように支援していくかが課題となっています。安心して結婚して、出産、子どもを育てていける社会をつくることが大事と言えます。もう 1 人産みたいと思えるような子育て環境を整えていくことが、私達の仕事かと思えます。本日はよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>◆ 以降は、会長が議長となり進行</p> <p>2 議事（1）第二期魚沼市子ども・子育て支援事業計画、第 3 回会議以降の修正箇所等について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料No.1、2、3 について説明）</p>
議長	<p>質問、意見等がございましたら、ご発言をお願いします。</p>
委員	<p>資料No.3 の 58 ページ、4 行目に「また、民間の力を活用した地域型保育事業の導入を支援します。」とありますが、具体的に考えていることがありますでしょうか。</p>
事務局	<p>現時点で予定している事はありませんが、現計画も地域型保育事業の導入を目指す方針でありますので、引き続き目指していくという方針であります。</p>
委員	<p>資料No.3 の 56 ページ、区域設定の理由③について、前回会議で文言を整理するということでしたが、現計画の文言を意図した内容に整理したのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域型保育施設の導入について記載したかった事ですが、地域ニーズに合わせた地域型保育施設を導入する場合に 1 地区であれば容易になるという考えで記載しました。</p>
委員	<p>市の姿勢としては、民間の活力を活用して地域型保育施設の導入を進めるということでしょうか。民間事業者の保育施設における事故、トラブル等の報道もされていますが、その辺の課題も踏まえて進めていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>民間で地域型の動きがあれば支援したいという考え方です。全国的な事故等の報道は承知しています。しかし民間の自由な保育活動を阻害する訳にはいかないので、民間でそのような動きがあれば支援していきたいと思えますし、民間保育施設が出来た暁には、県も含めて監査及び指導していきます。</p>
議長	<p>この③の部分については、区域を市全体で 1 区域にするという考え方ですので、そのように理解して良いかと思えます。他にございますでしょうか。</p>

委員	資料No.3 の 58 ページ 6 行目の 1 号認定の対応に関する事について、めぐみ幼稚園が閉園する予定の記載内容が削除され、「多様なニーズに対応するため」に修正されています。もしめぐみ幼稚園の閉園の話がなかったら子ども園移行の話はなかったのでしょうか。それとも元からある考えだったのでしょうか。
事務局長	めぐみ幼稚園閉園の話が出てきましたが、人口集中地域に 1 号認定対応の施設が無いという訳にはいかないという考えはあります。
委員	認定子ども園への移行については、めぐみ幼稚園の閉園とは別な話であり、全国的な流れと言えます。令和 4 年度を目標に認定子ども園への移行を検討することについて興味がありますし、公立も私立も大きな課題と思います。現時点で具体的に考えていることはありますか。
事務局	現時点ではありません。
委員	資料No.3 の 69 ページ、「今後の方向性・目標事業量」の 6 行目に「支援員」と記載がありますが、支援員になるには一定の研修を受講し、修了する必要がある、各放課後児童クラブには、支援員以外の職員もおります。表現を「支援員」から「職員」に変更した方が良いかと思います。
事務局	確認のうえ、修正したいと思います。
委員	資料No.3 の 62 ページ、目標事業量の表下「参考：利用実績」の平成 30 年の出生数は 209 人ですが、その下の見え消しの表にある平成 30 年の出生数は 213 人となっています。どちらが正しいのでしょうか。
事務局	213 人が正しいので修正します。
事務局長	対象者数や訪問数は年度ですが、出生数だけ暦年となっています。何か理由はありますか。
事務局	引用している統計資料が暦年のためです。
議長	可能であれば、年度に統一していただきたいと思います。
事務局	関係課に確認のうえ、検討させていただきます。
議長	資料No.3 の 63 ページ、「参考：利用実績」の平成 30 年度の訪問実施数と下の見え消しの表にある平成 30 年度実施件数の人数が一致しません。

事務局	正しくは2人ですので修正します。
委員	資料No.3の56ページ、「区域設定の理由」の③の末尾は「ため。」となっていますが、他の項目の末尾と併せて「こと。」とした方が、統一感があると思います。 また、同資料58ページに記載のある既存保育施設の定員見直しや認定こども園への移行の検討などは、この後に開催される公立保育園等再編検討専門部会と関係はありますでしょうか。
事務局	56ページ、「区域設定の理由」の③の末尾はそのように修正したいと思います。 58ページに記載の内容は、公立保育園等再編検討専門部会においても検討する内容です。
委員	認定こども園への移行については、令和4年を目標に話し合わせ検討されている事なのでしょうか。
事務局	資料No.3は現時点において素案ですので、今後パブリックコメントなどでご意見をいただいく中で専門部会等において検討させていただきます。
委員	資料No.3の94ページ、「現状と課題」について、上2行と下2行は同じ内容が記載されていますので、下2行は削除しても良いのではないのでしょうか。
事務局	内容は同じですが、上2行は現状を下2行は課題について記載しました。特に下2行は決意的な意味合いも込められており、課題としてまとめさせていただきました。
議長	下2行の始まりに「引き続き」と加えたら如何でしょうか。
委員	それで良いかと思います。下2行は市の考えが伝わり、分かり易いと思います。
事務局	下2行の始まりに「引き続き」を加えさせていただきたいと思います。
委員	資料No.3の96ページ(2)思春期における母性・父性を育む事業の「現状と課題」の3行目、「ふれあい事業」について、見え消しで「赤ちゃん」と「体験」が消されていますが、当初の記載どおり「赤ちゃんふれあい体験事業」とした方が分かり良いのではないのでしょうか。
事務局	正式な事業名が「ふれあい事業」のため、正式な事業名に統一させていただきました。

議長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>無いようですが、いくつかご意見いただきましたので、事務局は修正等の対応をよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>いただきました意見を参考に計画案を修正し、後日送付させていただきますが、修正後の審議について如何いたしましょうか。再度お集まりいただく方法と書面のやりとりによる方法等があるかと思えます。</p>
委員	<p>書面による方法でお願いします。</p>
議長	<p>それでは、書面による方法で事務局は対応をよろしくをお願いします。</p> <p>次第の3その他、今後のスケジュールについて事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>今後は、6月13日の第1回子ども・子育て会議で配布した策定スケジュール表に沿って進めていきます。</p> <p>11月の教育委員会、庁議で審議等を得て、12月の市議会総務文教委員会に提出した後に1ヶ月間のパブリックコメントを実施します。パブリックコメント終了後にその結果を受けて計画案を作成し、2月に第5回の子ども・子育て会議を開催しますのでよろしくご願ひいたします。</p> <p>その後に教育委員会での承認等を得て、4月1日から第二期計画がスタートする予定です。</p>
議長	<p>只今の説明について、質問や意見などございませんでしょうか。</p>
委員	<p>計画書の概要版は作成しますでしょうか。</p>
事務局	<p>予算を確認して検討したいと思います。</p>
議長	<p>他にございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>公立保育園等再編検討専門部会について報告させていただきます。</p> <p>これまで7月30日と9月30日の2回開催してきました。公立保育園の民営化等について、フリー討論等により検討しています。公立保育園等の民営化については、委員の皆様からは、特に反対の声はありませんでした。本日この会議の後に3回目を開催し、再編計画（案）の内容について検討していく予定です。</p>
議長	<p>只今の説明について、質問や意見などございませんでしょうか。</p> <p>無いようですが、本日はたくさんご意見いただきありがとうございました。後日、修正後の計画案が事務局から委員の皆様へ送られるそうですので、ご確認等よろしくご願</p>

事務局	<p>いします。</p> <p>スムーズな議事進行を大変ありがとうございました。最後に堀沢事務局長から閉会の挨拶を申し上げます。</p>
事務局長	<p>明るい話題を2点お伝えします。昨日のプロ野球ドラフト会議において、魚沼市出身の葺澤雄也選手が広島カープから指名を受けました。スポーツを担当する生涯学習課内では、垂れ幕作成について関係課と協議中です。</p> <p>また、本日の新潟日報朝刊に全国の市町村魅力度ランキングの記事がありました。魚沼市が県内では最上位と思われる88位となっていました。うれしいニュースがありましたので報告させていただきました。</p> <p>本日まで4回に渡りこの会議を開催し、来年度からの第二期計画に向けたご審議をいただきましたが、大変ありがとうございました。</p>